

¥ 義援金

山陰合銀が1500万円

山陰合同銀行（松江市）は15日、義援金1500万円を寄付すると発表した。銀行が1千万円、グループ会社14社が500万円を負担する。寄付先は公的機関などを検討中という。（大久保直樹）

小松電機産業 500万円

小松電機産業（松江市）は15日、義援金500万円を日本赤十字社県支部に寄付した。また計画停電によるポンプ停止で下水がマンホールからあふれるのを防ぐため、上下水道施設を遠隔管理する同社のシステム500万円分を、被災自治体に贈ると発表した。小松昭夫社長は「計画停電に対応できる。今後も被災地に対して何ができるか考えていきたい」と話した。（藤井満）

江津市全議員が募金訴え

江津市議会の議員クラブは15日、16人の全議員が市内4カ所で募金活動をした。市中心部のショッピングセンターでは、買い物客らが応じ、募金箱に寄付した＝写真。

議員クラブ全体会で「昭和47（1972）年、58（83）年の豪雨被害の際、全国から支援をいただいた歴史的な経緯がある」などと意見が一致したという。会長の山本誉氏は



「友人、知人が東北地方にいる人も多い。これからも先頭に立ちたい」と話した。（菱山出）

県立大・学友会は募金箱

県立大は15日、学友会（学生自治会）と共同で浜田、松江、出雲の各キャンパスに募金箱を置いたと発表した（出雲は14日）。期間は当分の間で、浜田では売店や事務室窓口など5カ所。卒業式と入学式の会場にも置くという。（菱山出）